
歴史若道書きのB L 合戦記

蒼樹 仁

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

歴史若道書きのBL合戦記

【Nコード】

N7368Z

【作者名】

蒼樹 仁

【あらすじ】

私の出会ったBL作品、心に引っかけたものたちの感想その他を勝手に書きまくる！！

矢合わせは華やかに！？ ～ブローグ～

アクセス解析とやらを見てみたら、まあ何とも感動的な数字がぴよこりぴよこりと踊っている。

いつまでも過疎っているブログの何倍でせう？ 嬉しくなっただけぢやねこぢやを舞ってしまう。

という訳で、仕方がないので狂喜しながら投稿再開してしまおうかねえ。

新シリーズはアタクシの出逢ったBL作品の感想やら何やら。カワイソウに、餌食になってしまうイタイケな仔羊が1匹羊が2匹羊が3匹……そのうち日本伝統芸能作品も愛して差し上げますことよ？ 伝統芸能をBL視線で、なんて言うと、お上品なマダムが青筋立ててお怒りになりそうですけど、何てことはない、日本古来の芸能はゲイ能なんでありますのよ？ ほら、高尚なごシュミと思われるお能、そのこんにちの基礎を築いた世阿弥は將軍のお気に入りっ。従って「そういう」くだりは結構能楽作品に出てきます。

歌舞伎だって江戸までの役者さんは……（以下略

ってな訳で、あんまり時間が作れなくて更新頻度は高くないかもしれませんが、新シリーズ開戦でございます！！

『Hybrid Child』 中村春菊（前書き）

作品情報：『Hybrid Child』 中村春菊（角川書店／ビ
ブロス） 2社より発行

『Hybrid Child』 中村春菊

戦端を開くのは、やはりこれ。

あ、すみません、ちよつとこのシリーズの題名変えました。早々と昨日〜今までにプロローグ読んでくださった方、ありがとうございます、『探訪記』から『合戦記』に変わっております。

中村春菊大てんてーは『純情ロマンチカ』とか『世界一初恋』とかのシリーズで爆発的人気を誇っておられるけれど、私は圧倒的にこの1冊が好きです。

明言はしておられないけれど、恐らくはこれ、会津戦争がモチーフになっていきます。

1、2話の舞台は明治ですが（多分）、話の発端は幕末、あれから140年以上経った現在でも未だ会津人と長州人との間に微かな遺恨を残す、鳥羽伏見の戦いに端を発した戊辰戦争、その中でも地獄絵図をうつし世に下ろしたかのごとき会津戦争が話の始まり。いや、話の流れからしてそうだと思うのよ？

ネタばれするので詳しい内容は書きませんが、心に深い傷を負った指揮官2人、それでもなお赦されぬ罪、悲しみをぶつけるあてを知らず、八つ当たりする民衆……そしてひたむきに愛し続けてくれるハイブリッドチャイルドに救われ、あるいは更に孤独を深める指揮官。

1話はやや軽めのノリですが、『月の雫』『型番0001』のキーワードを深読みすると、黒田のポーカーフェイスに大泣きします。最後まで読まないはこの深読みの意味は解らないのですが。

……どうして出版社さまは中村てんてーに時代物の新作を依頼しないのでしょうか、『東山道転墜異聞』、『月は闇夜に隠るが如く』、『満月物語』、『海二眠ル花』、この方の魅力は時代物にこそ顕著

に表れていると思うのですが。

美しいナレーション、心に重く響く人の愚かさ愛おしさ、暗闇に差し込むひと筋の希望。ああ、稀代のストーリーテラーとはこの人のことを言うのだ、と、涙しながら読んでいる……のですけどねえ。

さて、次回は日本を飛び出してアメリカ力を舞台にした作品でも。

『ニューヨーク・ニューヨーク』 羅川真里茂（前書き）

作品情報：『ニューヨーク・ニューヨーク』 羅川真里茂（白泉社・
全4巻）

『ニューヨーク・ニューヨーク』 羅川真里茂

いきなりアメリカに飛びました。

羅川真里茂さん、『赤ちゃんと僕』などでも有名な漫画家さんですね。

さて、日本史が主食、というか日本史偏食一辺倒な私がどうしてもこの作品を取り上げたのか。

それには深い訳がある…… ようないような。

この作品はボーイズラブというより、ゲイの漫画と言った方がしっくりくる気がします。何が違うんだ、と言われるとどうにも困るのですが。

偏見に遭って大変な苦勞をし、それでも強く想い合うケインとメル、激しくケインとぶつかり合うケインの母親の心の揺れ動き、誘拐事件、そして穏やかなラスト。

我が家には絶対に手放さないけれど手に取れない作品が二つあります。それが前回取り上げた『Hybrid Child』と、この『ニューヨーク・ニューヨーク』。

その理由は両者で全く異なります。『Hybrid Child』はあまりに哀しすぎて、そしてこの『ニューヨーク・ニューヨーク』はそのラストの静かな陽だまりが切なくて。

『ハイブリッド』は悲劇、『ニューヨーク』はハッピーエンドと言えるでしょう。ハッピーエンドなのにどうしてここまで苦しいのか。これは何度も考えてみたのですが、解らん。強いて言うなら、静かな感動の、その振れ幅が広すぎて、心がかき乱される、とでも？ 等身大の彼らの姿が生き生きと描かれるこの作品、BLに興味のない人、漫画が嫌いな人にもお薦めしたい1作です。

ちなみにこの作品にテーマ曲を勝手につけるなら……

榎原敬之さんの『Taking The Central Course
です。』

『ニューヨーク・ニューヨーク』 羅川真里茂（後書き）

次回は……何書こう？ 未定です。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7368z/>

歴史若道書きのBL合戦記

2012年1月14日15時52分発行